

西部ガスでは、2019年4月1日より
従業員一人ひとりのこころと身体の健康の保持・増進を図るべく、
健康経営宣言します。

健康経営宣言

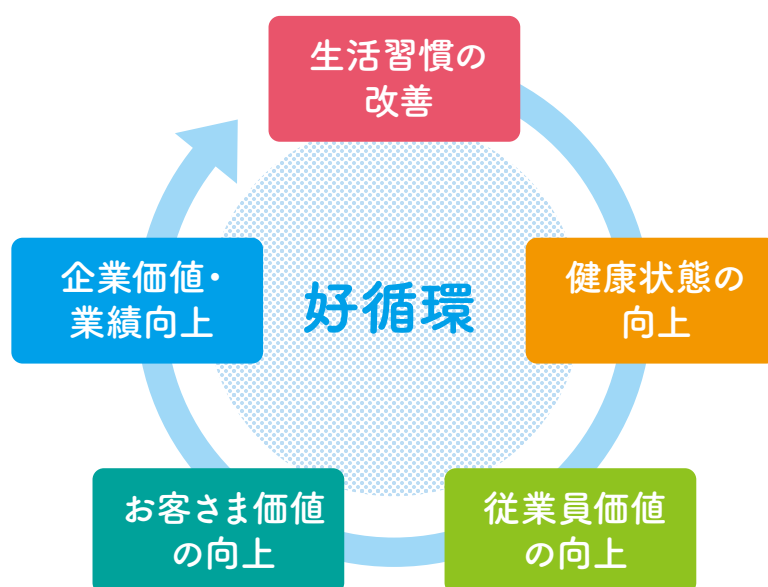
私たち西部ガスは、「地域貢献」、「責任」、「和」を経営の基本理念として掲げ、お客さまから圧倒的な信頼をいただくエネルギーとくらしの総合企業グループを目指しています。

この目標を達成するために、従業員一人ひとりの人格、個性を尊重するとともに、働きがいがあり、仕事を通じて人間的な成長を図ることのできる企業を目指し、「働き方改革」や「ダイバーシティの推進」などの取り組みを進めています。

その取り組みを推進していくためには、従業員自らが心身ともに健康な状態で、生き活きと目標に向かってチャレンジし続けることが何よりも重要です。

こうした考え方から、西部ガスと健康保険組合は一体となって、従業員とその家族の健康づくりを支援していきます。この取り組みを通じて、さらに働きやすい職場を実現し、従業員価値の向上とお客さま価値の創造を続け、地域・社会に貢献してまいります。

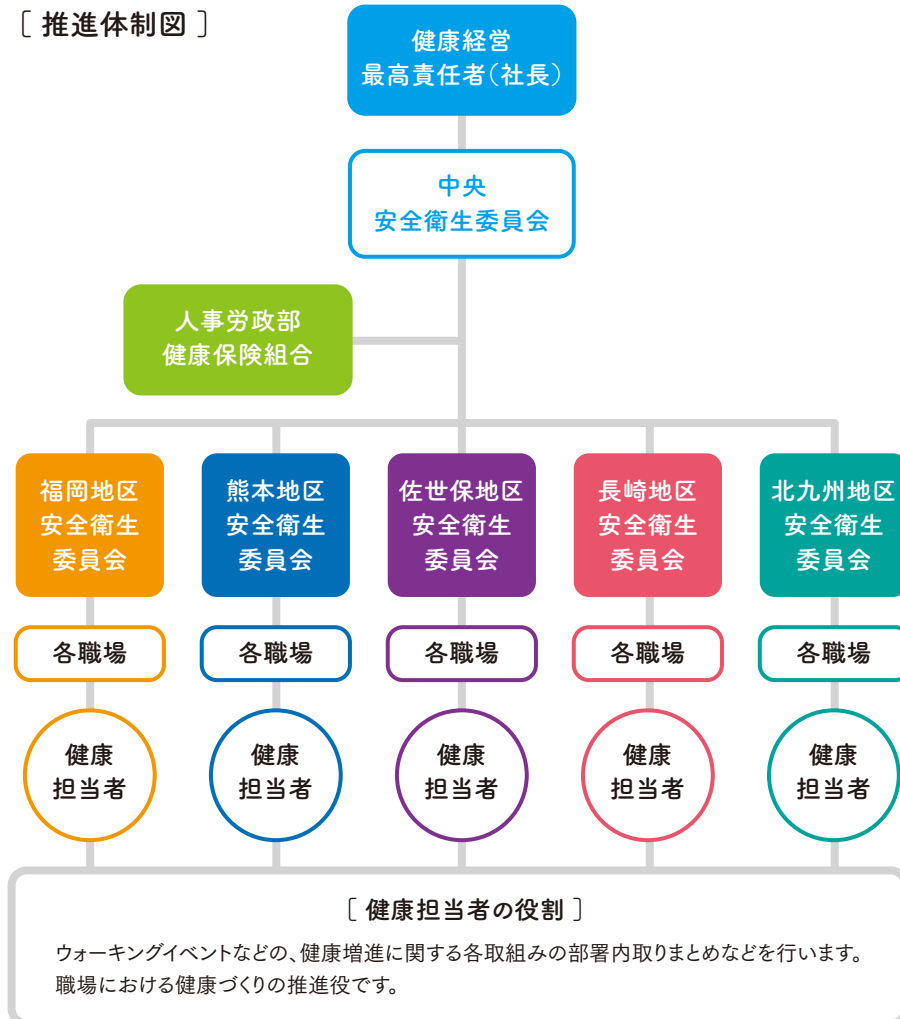
[西部ガス 健康経営の目的]



推進体制

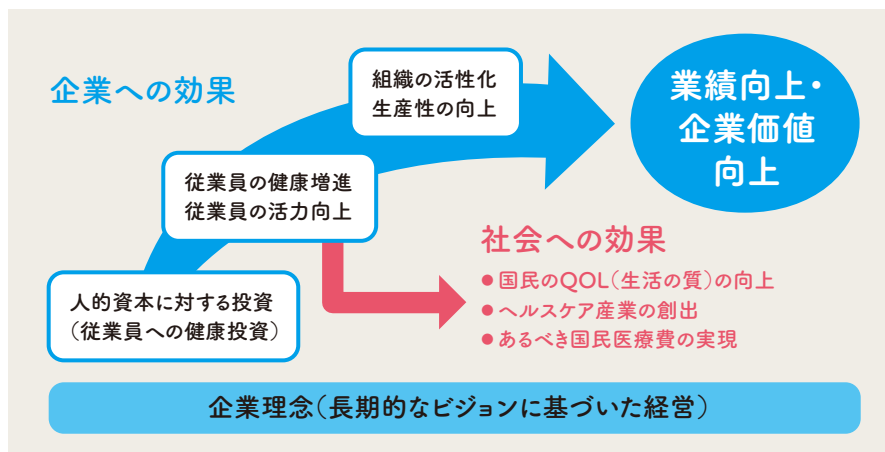
健康経営に関する基本方針等は、中央安全衛生委員会で検討し、健康経営最高責任者である社長が決定、各地区安全衛生委員会を通じ、各職場に周知・実施します。地区での推進は、地区安全衛生委員会を中心に実施。各部署毎に「健康担当者」を配置し、各部署内の健康増進活動を具体的に推進します。

[推進体制図]



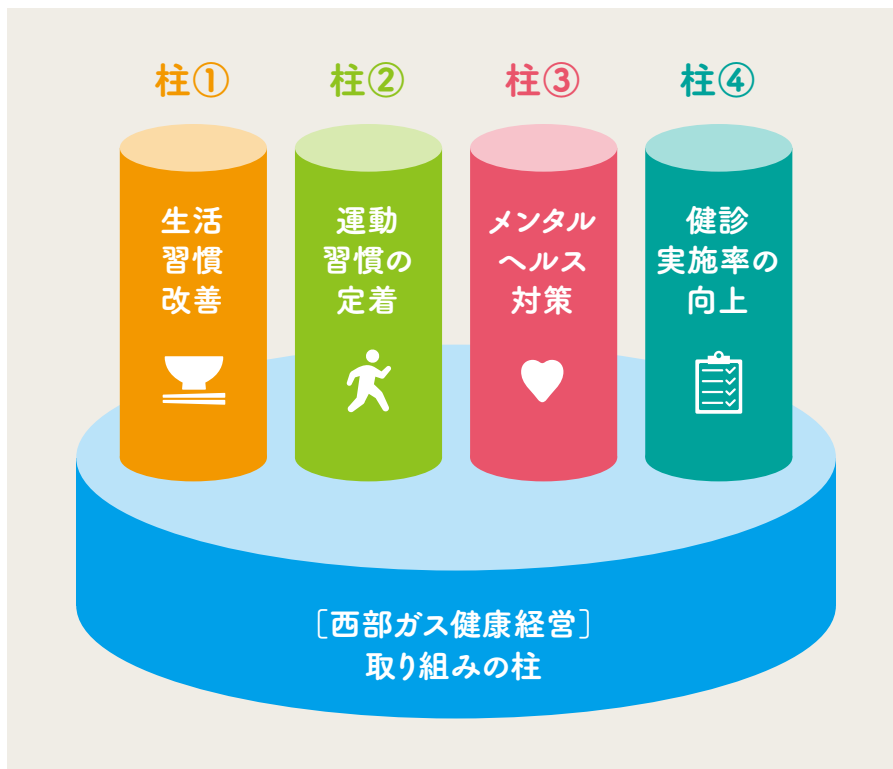
健康経営とは

健康経営とは、「健康保持・増進の取り組みが、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に長期的ビジョンで実践する取組み」のことです。



健康増進への具体的な取り組み

「西部ガス健康経営」の取り組みの柱を以下の4点とし、実施にあたっては西部ガス健康保険組合と連携して取り組みを進めていきます。



中長期目標

		第1フェーズ	第2フェーズ	第3フェーズ
方向性		健康意識の向上	健康数値の向上	活動と実績の維持
目標	喫煙率の低下	26.0%	20.0%	状況を見て再設定
	ストレスチェック 元気度・満足度の向上 <small>※標準偏差値</small>	50	51	52
	特定健診 受診率の向上	80.0%	90.0%	状況を見て再設定
	休業日数の減少	第3フェーズまでの おおよそ10年間で半減		